



10月1日(金)に本校の文化祭である「住高祭」が開催されました。本年度も感染症予防のため、生徒・教職員・教育コーディネーターさんによる校内のみの文化祭となりました。保護者の皆さまには参加を楽しみにしていた方も多かったと思いますが、生徒の活躍の様子はDVDに映像を記録して配布する予定です。新型コロナウイルス感染症という、私たちの力だけではどうにもならない状況が続いていますが、生徒達は自分たちの置かれた状況の中で精一杯展示や発表内容に工夫を凝らし、楽しむことができました。



今年の「住高祭」のテーマは「Just Smile～笑顔の花を咲かせよう～」でした。生徒達は一般の来客者がいない中でも、文化祭を笑顔で楽しむために展示や発表を一生懸命にがんばりました。



— 校長先生の開会式でのことばを真剣な表情で聞く生徒 —

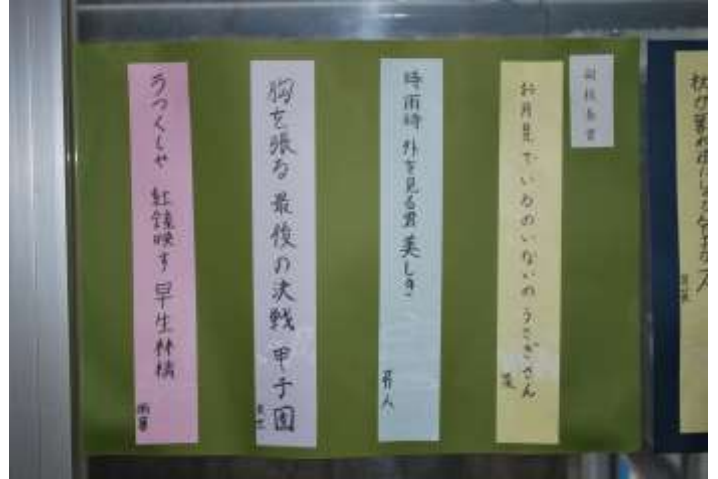
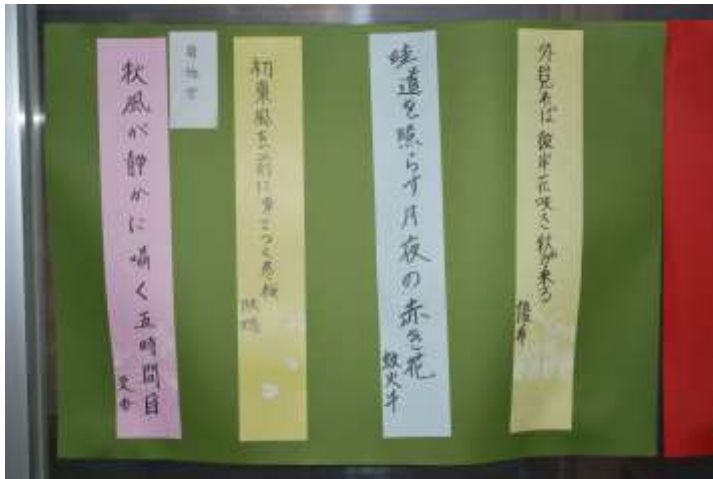
校長先生あいさつ

「今年度の住高祭は、新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、規模縮小で開催となりました。このような制約の多い状況の中にあっても、アイデアを出し合い、今、出来ることを精一杯やろうとする住高生の前向きな姿勢や行動力は、さすがだと思います。住高祭を充実したものにしたいという思いが込められた各部門の展示・発表を、今日は全学年で共有しましょう。1, 2年生の生徒諸君 住高祭は2年間コロナの影響で一般公開はありませんでした。来年は一般公開のあった従来の住高祭を知っている生徒がいない中での住高祭になります。住田高校を盛り上げるための新しい企画を考えてみてもいいと思います。考える力が、学習や部活、進路に繋がり、実りある高校生活になっていくと思います。

With コロナの中での行事です。マスクの着用や消毒・換気など感染防止対策をしっかり行い、安全に十分注意して、協力して充実した住高祭にしましょう。よろしくお祈りします。」

教室棟と体育館をつなぐ渡り廊下の壁面には、生徒全員が作った俳句が掲示されました。先生方や教育コーディネーターの皆さんがすばらしいと思った作品にそれぞれの賞を授与しました。

高校生の若い感性が感じられるすばらしい作品ばかりでした。掲載スペースの関係上、今回は受賞作品のみ紹介します。



受賞	作者	俳句 (雅号)
若林賞	小野 恒臣	木枯らしの 吹く度進む 冬支度 (本郷)
木村賞	瀬川 龍生	マスクして 並ぶ球児 皆家族 (敏吾)
大澤賞	佐々木 愛花	眺めては 知らぬ世おもう 送り火や (柚子)
上野賞・利府賞	鈴木 琴延	鹿衝突 初心者マーク 新車ぴえん (狛犬)
菊地賞・成田賞・紺野賞	佐々木 好香	秋風が 静かに囁く 五時間目 (葉香)
校長賞	中名生 せな	樺山の 夕日に映える 山化粧 (なっち)
小向賞	佐藤 愛華	もう少し 日が長ければ 秋の暮 (柚)
小宅賞	近江 帆南	渡り鳥 羽音とともに 空切り絵 (蠱虚)
仁賞	加藤 白虎	秋風の ふきぬけゆくや 人の中 (工セ文学)
仁賞	村上 夕莉	光ってる クルミの葉落ち 海が見え (友季)
範子賞	阿部 悠	お布団の 外に出られず スフィンクス (鰻)
西出賞	戸羽 爽	赤とんぼ 夕焼け空に にじんでく (鑑真)
佐々木賞	熊谷 葉弥	部活やめ 私の腹も 盈月か (墮月)
煉獄賞・心を燃やせ賞	黄川田 成那	最期まで 彼の人想う 走馬灯 (炒飯)
小岩賞	岡沢 尠充	栗ご飯 この季節には すごくいい (春夏)
森賞	菊池 獅道	熱い夏 白球追いかけて 夢舞台 (熱涙)
事務長賞	高橋 真奈	ぼんやりと 夕日見つめる バスの中 (愛)
小澤賞	藤田 嘉生	飯食うと イヤホン取って 蝉時雨 (藤火)
佐藤賞	菊池 孝博	山の奥 青紅葉から かわるのか (一子)
副校長賞	小島 菜生	お月見で いるのいないの うさぎさん (菜)
三浦賞	村上 立輝	駆けていく 小さい肩に 桜舞う (小白主)
吉田賞	佐々木 海風	まん延防止 どこにも行けず ゲームする (凧ちゃん)
廣瀬賞	水野 翔磨	とれたての 三陸さんま 七輪で (白銀)
高橋賞	齊藤 桜汰	道端に 風に揺られる 猫じゃらし (海堂)
細田賞	佐々木 若奈	お手玉の 横で丸まる かじけ猫 (零愛)



— 教科「芸術」で音楽を選択している生徒の発表会 —

1年生は「世界に一つだけの花」、2年生は「Tomorrow」、3年生は「残酷な天使のテーゼ」と「ふるさと」の合唱を披露しました！



本校の吹奏楽部は顧問の細田富士子先生のもと、部員4人で活動してきました。本年は感染症予防の関係で観客の前で演奏したのはこの文化祭が初めての経験となりました。「世界に一つだけの花」、「うっせーわ」、「炎（ほむら）」、「Paradise has no border」の4曲を全校生徒の前で披露しました！

— 学校教育における学校行事の意義 —

文化祭をはじめとした学校行事は「特別活動」と呼ばれるもので、教科の勉強だけでは養うことができない部分を補う目的で行われる大切な教育の場です。その目標は、①他者と協力して集団として物事を成し遂げる力、②意見の違いを乗り越えて、お互いの立場を尊重して良好な人間関係を築く力、③積極的に集団に加わり、自分の役割を果たすことにより自分への自信を深めることです。これら①～③の能力は、教室の中の勉強だけでは十分に養うことができません。日常の学習と同様に、学校行事にも一生懸命取り組む生徒達であり続けてほしいと思います。（副校長）

【参考：文部科学省「高等学校学習指導要領」】

吹奏楽部による演奏会の後で、各クラスによるダンス発表会が行われました。生徒達は体育の授業などでこの日の発表会のために練習してきました。校内審査員として小山秀司校長先生、伊藤晃副校長先生、廣瀬慎吾先生、校外審査員として住田町魅力化サポーターの奈良朋彦様、佐藤範子様をお迎えし生徒達の発表を審査していただきました。先生方を巻き込んでの発表を行うクラスもあり、生徒達から拍手喝采を浴びていました。



1年A組



1年B組



2年A組



2年B組



【優勝】3年A組



【準優勝】3年B組

生きていく中で、人間には自分の力ではどうにもならない境遇に陥ることがあります。しかし、まわりの環境のことを嘆いてばかりいても状況は改善しません。「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。どのような状況になっても、今自分ができていることを見つけていくことが大切です。今回の文化祭のテーマは「笑顔の花を咲かせよう」でした。予想もしていなかった状況になっても、自分の花を咲かせようとする姿勢は今後の長い人生でも生きてくるはずです。生徒達は、自分たちが置かれた状況の中で精一杯の努力をして、笑顔で文化祭を終了できたと思います。一日だけの、そしてお客様のいない文化祭でしたが、高校生活の大切な思い出として生徒達の心に残ってくれることを期待しています。（副校長）